

承知ありたく候

■原色版『初秋の花』はワツトマンハツ切大のスケツチに御座候。『臺灣本島人の顔』のスケツチは木炭紙四ツ切大にして、夜間の寫生のよし、此分製版少しくヤリ損、頼のあたりの色出合はず、筆者及讀者に申譯なき事に相成候

■石川欽一郎氏は此の程臺北學院に於て「色彩」「位置」「遠近」「明暗」「寫生心得」「概論」等水彩畫講話を試みられ候、右の大要は來號より本誌に登載可致候

■本號は八月十日を以て編輯メ切に致候ため、鎌倉及長野に於ける講習會の記事は次號迄御待下され度候、こゝには双方共極めて盛會なりし事を御知らせ致置候

■本誌缺本、初號より二十一號迄及二十九、五十、五十二等に御座候四十二、四十九、五十一等は二冊を剩し居候、近刊の分往々品切を生じ候間御入用の方は至急御注文被下度候

■本誌品切の分再刊御請求あるも、着彩版は到底出來難く候間、再版不可能と御

■毎度申事ながら注文用紙、振替貯金通信文欄等へ本誌原稿質問等御記入相成候

分はすべて没書と可相成候。寄稿類は必ず別紙に認められたく、假名は平假名に願上候。また西洋紙にて表裏兩面へ細字にて認めしものも迷惑致候

■御寄稿にして是迄登載せざる分澤山有之候、それは紙面の都合にもよれど、時節の關係も有之候。春の出來事を夏時分御投書になると、掲載は秋になるといふやうな次第で、このやうなのは不得止來年の春迄保存し置く事と相成候

■未完の御寄稿は登載せざること可有之候

■讀者諸君より暑中見舞狀を寄せられし方多し、幹部諸員無事斯道に盡し居候間御安心下され度、爰に御厚志を謝し申候

## 紹介

◎東洋藝術資料は本邦、支那、朝鮮、印度を始め其他一般東洋藝術に關する正確なる資料の選集にして、原本は每號凡二十葉宛アートタイプにて複製し、所藏者

たる伊東、塚本、關野三博士の責任ある

説明を附せらるべく、定價は一部郵税共六十二錢、十二部六圓にして、第一集は支那周漢の部、古銅器及其紋様にして、九月一日を以て發行せらるべしといふ（東京駒込上富士前町日本美術社發行）

## 問に答ふ

■獨習で木炭畫の稽古は不可能なりや、また鉛筆畫のみでは筆のイザケルといふ患なきや（北海の一讀者）◎不可能にあらずたゞよき參考品なきのみ、又鉛筆畫と雖も畫き方によりて筆のイザケルといふことなからん■水彩畫を學ぶに必ず人物畫を習ふべきや、必要なら其獨習法を知りたじ（曉村生）◎前號靜物寫生の話を見られよ■チューブ入繪具固まりて困る、いかにしてよきや（自然子）◎管を破つて繪具を取出し湯に浸して軟かにしグリスリンを入れて練直すべし■サロン其他の裸體畫を集めしもの、又は一枚ものにてもよろしけれど購求することを得べきや（玉島愛讀生）◎巴里發行ヌー、ド、サロンといふ裸體のみ集めしもの年々出版せら



るれど日本には輸入禁止なり■一 數人團體を作つて研究するのと研究所に入りて研究するのと何れか早く上達するや二 日本水彩畫研究所にては鉛筆畫も教ふるにや三 鉛筆畫に粗末な描法と緻密なのとあり何れがよきにや四 最新水彩畫法其他の美術書は上野圖書館に寄附されしや五 文房堂の割引は何割なりや六 外國語に通ぜざれば洋行は出來ぬものにや(ME生)◎一 教師なくして研究するのはタトエ百人集まつて勉強しても利益少しなし二 鉛筆畫の課目あり三 仕上つた鉛筆畫といふのは後者なり、前者は重にスケッチといふ四 帝國圖書館には内務省より凡ての出版物を廻送する筈故多分備つけあるべし五 物によりて割引せず、普通品は一割なり六 程度問題ならん、附言こんな下らぬ質問は以後お答致さぬことゝ御承知ありたし■美術學校撰科生の資格等承知したし(京都一書生)◎直接學校に問合されよ■透視畫法獨習の好參考書を伺ひたし(江湖の人)◎日本橋金港堂發行井汲氏著『用器畫法』第三解説付

可ならん價は三十八錢、又は同店發行寺崎氏著『用器畫教科書續編』附圖共五十七錢■一 ガラスの描法及主として用ふる繪具を知りたし二 水彩畫に線をつけるを嫌ふときくスケッチなどにも然るにや三 初學のうちにはあまり配合調和等の事は不必要と思ふ如何四 文房堂の割引券の效用は定價の何割引にや(茨城北總生)一 置かれたる周圍の色彩、又器物内の物の色等によりて、其色が透明して見ゆるものなれば、描法又は色彩については實地に寫生し研究するより他に道なし二 日本畫の如き線は用ひぬとも物の感じは出る筈なり、但時として太き線にて輪廓をつくり其内へ彩色を施す場合あり三 不必要どころか初めに其點を充分研究すべきものなり四 前に答あり

### 讀者の領分

■自筆水彩繪葉書交換の希望○福島縣石川郡川東村折笠貞義○神戸市東柳原町五十七丸山方塚崎繁夫○下野國日光町下鉢石町星野長一■前號の昨年分ハガキ文學全部の提供者は私です(佐藤周子)■

繪葉書競技會開會の希望(小島虎太郎)■各國古郵便切手珍種數百持合す、油繪水彩畫等と交換したし(備中國玉島町中塚響也)■ハツ切以上の水彩スケッチ箱讓受け度し次に『みづゑ』等の美術雜誌を惠まるれば當地繪葉書を御禮に差上る(福岡縣三池郡大牟田魚日町十二松本紫峰)■前號相田君の『少女』奇麗に拜見しだが左の頬が少し脹れ過ぎてゐるやうに見られた、着物は御手のものだ、肉體の工合は夏目氏に比較してまだくと思ふが如何(山梨汀雲)■『女性と趣味』『水彩畫指南』『水彩畫階梯』『スケッチ畫法』『スケッチの栞』『墨繪講話』大下先生水彩畫帖等讓渡す又は糊いらず水貼枠と交換を望む(茨城縣結城郡菅原村坂野伊三郎)■ワットマン九ツ切スケッチ箱相當代價にて讓受たし希望者至急御照會(福岡縣遠賀郡香月村田代哲郎)■『みづゑ』五十號及五十二號不用の方は讓受たし但洋畫講義錄一、二の二冊と交換してもよろし(信州松本市出居番宮下太郎)